

☑ 4 - そう思う    ☑ 3 - どちらかといえば、そう思う    ☑ 2 - どちらかといえば、そう思わない    ☐ 1 - そう思わない

学校教育目標

**1 教育方針・目標の理解**

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。

**2 意欲的な学校生活**

子どもは、楽しい学校生活が送れていると思いますか。

**3 教師の連携協力**

学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。

**【学校から】**  
 1 4の段階と答えた児童・保護者がとても増えた。今後も、教育方針や教育目標の実現を目指して、職員一致協力して励んでいきたい。  
 2 4の段階と答えた職員が減った。児童の言葉遣いや人間関係づくりについて、共通理解を図り、指導を工夫していきたい。  
 3 4の段階と答えた保護者・職員が増えた。今後さらに職員間の連携協力を高めていきたい。

**4 授業づくりの工夫**

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。

**5 意欲的な学習態度**

子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。

**6 総合的な学習の時間の充実**

子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。

**【学校から】**  
 4 自主研究発表会の取組もあり、職員の伸びは顕著で、自信をもって授業に取り組んでいることが伺える。しかし、1の段階と答えた児童もおり、児童一人一人への細やかな指導を大切にしたい。  
 5 4の段階と答えた保護者の割合が昨年の2倍に増えた。生活ノートの効果が上がっていることが伺える。  
 6 三者とも昨年度よりも数値が上がっている。複式学級を考慮した指導計画を立案したことにより、効果の上がる学習ができたことが伺える。

**7 道徳、心の教育の充実**

学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にしている心の教育の充実に努めていると思いますか。

**8 あいさつ、礼儀の励行**

子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。

**【学校から】**  
 7 4の段階と答えた児童・保護者がとても増えた。本年度は特に、「心がやけ月間」を見据えて道徳の一斉公開授業を行ったり、あいさつがんばりカードの取組を行ったりしたことにより、保護者や児童の意識付けができたのではないかと考える。  
 8 昨年度同様、児童と、保護者・教職員との意識の違いが大きい。おとなが期待するあいさつや礼儀を具体的に児童に伝えとともに、学校と家庭が共通認識をもって道徳教育を進めていく必要がある。

**9 一人一人の生徒の尊重**

学校は、一人一人の子どもを大切に指導や対応ができていると思いますか。

**10 友だちへの思いやり**

子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。

**11 学校の支援体制**

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

**【学校から】**  
 9 個人面談週間を実施したこともあり、4の段階と答えた保護者・教職員がほぼ倍増した。しかし、1や2の段階と答える子どもがおり、さらにきめ細やかに児童の思いを把握し指導に生かす必要がある。  
 10 4の段階と答えた保護者・教職員が、ほぼ半減した。児童の言葉遣いや人間関係づくりについて、みんなで考え、よりよい方向に向かう指導を工夫する必要がある。  
 11 教師の回答に比べて、保護者の回答が幾分厳しいものになっている。学習や生活面での困り感はないかさらに細やかに把握し、指導に生かす必要がある。

**12 生徒理解**

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。

**13 規範意識**

子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。

**14 いじめや問題への対応**

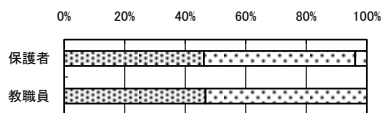
学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。

**【学校から】**  
 12 個人面談週間を実施したこともあり、三者ともに数値が上がっている。特に教職員の伸びは顕著である。今後も、取組を充実させていきたい。  
 13 設問8同様、児童と、保護者・教職員の意識の違いが大きい。家庭との連携と、児童に分かりやすい具体的な指導を行う必要がある。  
 14 三者ともに数値があがっている。しかし、1や2と答えている児童がいることを重く受け止め、いじめの早期発見と早期対応に努めたい。

## 健康教育 安全

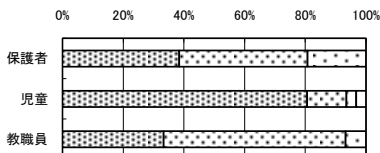
### 15 安全と事故防止

学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。



### 16 体力向上

子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。



【学校から】

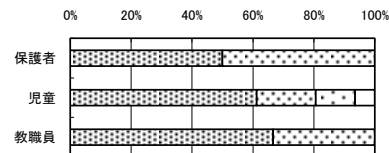
15 数値では分らないが、校内・校外での事故やケガは減っていない。危機回避能力を高めるための日常指導がさらに必要である。

16 児童の意識と、保護者・職員との意識にずれがみられる。また、特に保護者において、3の段階が大きく減り、2の段階が増えている。体力づくりや外遊びの取組を工夫する必要がある。

## 学校行事

### 17 学校行事への参加と工夫

学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。



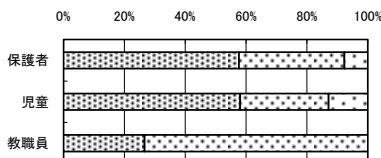
【学校から】

17 児童数減に伴い、行事の内容を工夫したことが功を奏してか、4の段階と答えた児童の伸びが顕著である。しかし、1や2の段階と答えた子どももあり、さらなる工夫が必要である。

## 学校環境

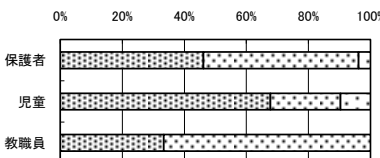
### 18 環境の整理・美化

学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。



### 19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。



【学校から】

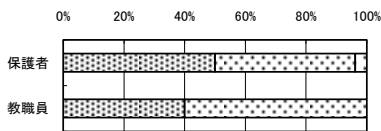
18 数値は昨年度とそう変わらない。児童数が大きく減少したものの、児童・職員力を合わせて緑化や清掃に取り組んだ成果であるとする。

19 三者ともに数値が上がった。今後も、安全で整備された施設・設備の管理をこころがけたい。

## 情報の公開・発信

### 20 学校の予定等がわかる情報発信

学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。



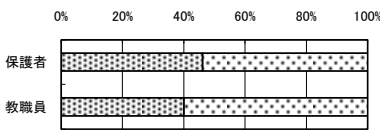
【学校から】

20 4の段階と答えた教職員の割合が、倍増した。学級通信はもちろんのこと、生活ノートを作成して家庭と連携を図ったことの効果が伺える。

21 本年度は、毎月授業公開を行ったこともあってか、二者ともに数値があがった。

### 21 教育活動への参加

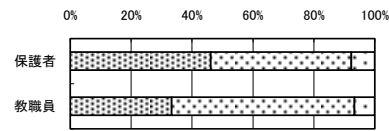
学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。



## 家庭・地域との連携

### 22 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



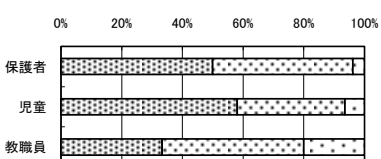
【学校から】

22 生活ノートや親子読書について家庭に協力を呼びかけたこともあってか、4の段階と答えた保護者が増えた。今後も、家庭との連携を大切にしていきたい。

## (学校独自)

### 23 努力事項

松尾西の伝統である「花と緑」は、積極的に推進されていると思いますか。



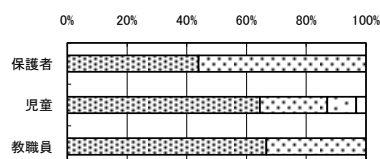
【学校から】

23 児童数や職員数の減少が続き、緑化環境の維持管理がますます難しくなり、職員の意識はやや下がった。本年度は地域からたくさんの方の協力を得、ありがたかった。

## (学校独自)

### 24 努力事項

親子読書や、職員・保護者による読み聞かせは、読書への興味・関心を高めるうえで効果的だと思いますか。



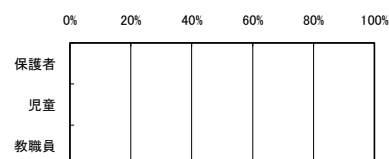
【学校から】

24 親子読書や読み聞かせによって、読書の楽しさに目覚め、本を借りようになった児童が増えた。今後も家庭と連携して、読書活動の推進に努めたい。

## (学校独自)

### 25 0

0



【学校から】

## 来年度の具体的な取り組みについて

○本年度も、保護者や地域の方々との理解と支援のおかげで、児童数・職員数ともに少ないなか、充実した教育活動を行うことができた。来年度も、学校からの情報の発信に努め、保護者や地域の声を教育活動に生かして、開かれた学校づくりを推進する。  
○分かる・できる授業づくりを工夫する。そのために、基礎・基本の定着を図る取組と、少人数や複式学級における授業改善に重点を置く。

○あいさつや礼儀、きまりやマナーを守ることができるようにするために、道徳の時間や日常生活の指導に力を入れる。子どもによるあいさつ運動を各学期実施するとともに、道徳の授業参観を行う。

○楽しい学校生活をおくることのできるようにするために、子ども同士の人間関係づくりや言葉遣いの指導に力を入れる。特に、異学年と一緒に遊んだり話し合いをする機会を充実させる。また、児童理解のための「個人面談週間」を各学期実施するとともに、職員間の情報交換を密にし、全職員で子どもを見守り育てていく。

○体力向上に力を入れる。特に、運動に関する行事の少ない2学期を中心に、運動や外遊びに親しむ機会の充実を図る。

## 学校関係者評価

○子どもたちのあいさつが、とても良くなったと思う。少人数の授業で子どもが先生を身近に感じており、とても良いと思う。

○複式学級では、子どもが教科書の内容を十分理解できているのか心配である。先生の大変さが分かる。

○総合的な学習の時間について、1・2と回答する子どもが以外と多い。意欲的に取り組む気持ちを育ててほしい。

○あいさつ・礼儀については、子ども・保護者・教職員三者の差が興味深い。教師に敬語を使わない子どもが増えていることは以前から感じていたが、一つ一つについて具体的な指導が望まれる。家庭においても同様だと思う。礼儀、礼節をわきまえた人間教育をお願いしたい。

○人権教育については、1や2と回答する子どもがいる。また、4と回答する保護者や教職員が半減したということで、心配である。「みんな仲良く」ということを望む。いじめについても同様である。

○開かれた学校づくりは、地域の協力等を引き出す一番の力だと思う。地域で支える学校にしていけたらと思う。

○三者の意識の差が多少はあるようだ。学校側がめざし願う基準と、保護者や子どもが体験し実践していることが違うのではない